

## 春季審査会の感想

先ずは、春季審査会につきまして、御審査ありがとうございました。

結果は、望んだとおりに行かず、悔しいものとなってしまいましたが、秋季審査会に向け、再び精進して行こうと決意を新たにしているところです。

今回の試験は、稽古不足もあり自信を持って望めたものではありませんでしたが、それが業に出てしまったように思います。そのせいで必要以上の動き等をしてしまいました。

作法から三本目までは、思ったより緊張している自分を落ち着かせようと、無心になろうとすることに心をとられ、間合いがかなり雑になっていたように思います。三本目が終了した時点でそのことに気づき、間を取ろうと努めましたがかえって今度はそのことで、体捌きと剣に勢いがなくなってしまうと思ひ込んでしまいました。結果的に最後の八方詰では、自分で勝手に自分の体が動いていないと判断し必要以上の呼吸をしてしまいました。

今こうして振り返って、色々と反省点はありますが、結局は稽古不足と集中力の不足ということに帰結するかと思っております。秋季審査会では、万全の備えをし、心技体を充実させ、良い結果を得たいと思っております。

福岡県武道大会もあり、錬心館としても今年は忙しい年であるかとは思いますが、改めてご指導をよろしくお願いいたします。